

第5次播磨町総合計画

いいとこいっぱい！

笑顔いっぱい！

みんなで作る

ふるさと はりま

播磨町のまちづくりの指針になる第5次総合計画はまちの将来像を「いいとこいっぱい！ 笑顔いっぱい！ みんなでつくるふるさと はりま」と定め、10年後のまちの姿を「日々の暮らしを快適で便利に過ごすことができるまち」「いつでも安心して暮らせるまち」「心安らぐふるさと」として、いつまでも愛し、誇りに思えるまち」となるようイメージしています。

日々の暮らしを快適で
便利に過ごすことが
できるまち

暮らしを支える都市基盤が便利で利用しやすくなり、活力ある産業と身近な自然を感じながら、笑顔で快適に暮らしています。

いつでも安心して
暮らせるまち

地域で支え合うことができるまちで、子どもから高齢者まで安心して健やかに暮らせるまちになっています。

心安らぐふるさととして、
いつまでも愛し、
誇りに思えるまち

播磨町に関わるすべての人に「ふるさと」として愛されています。恵まれた風土と歴史に愛情と誇りを持ち、一人ひとりが自分らしくいきいきと過ごしています。

第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1

結婚・出産・子育ての
希望をかなえる
環境を創る

基本目標2

安全・安心に
暮らせる
「まち」を創る

基本目標3

資源を活かした
産業の振興で
「しごと」を創る

基本目標4

魅力を伝え、「ひと」の
交流・移住・定住の
流れを創る

SDGsの達成に向けた取り組み推進

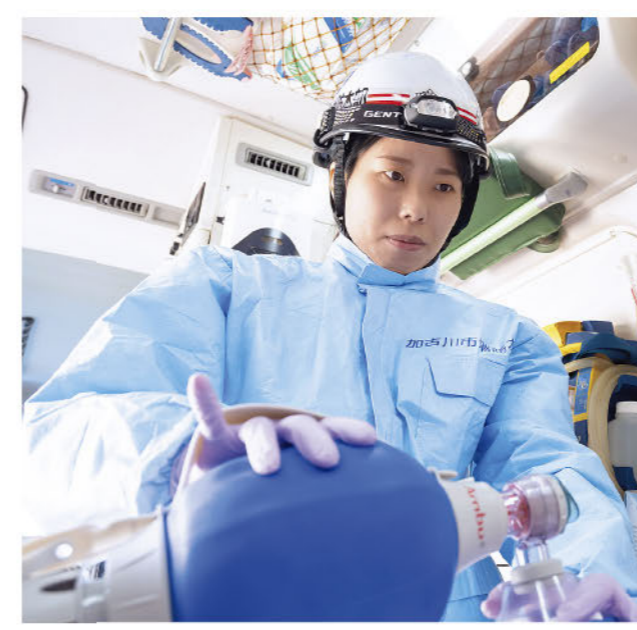


SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに達成する国際社会の共通目標であり、「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するための17のゴール(目標)とその下位目標である169のターゲットで構成されています。

第5次播磨町総合計画に位置づけたまちづくり分野では、持続可能なまちづくりに向け、計画に掲げる施策とSDGsの17の目標を紐づけ、施策の推進により、SDGsの達成を図っていきます。



1
誰もが安心して
安全に暮らせる
ふるさと



方向性1 【保健・福祉】

安心して暮らせるまちへ

すべての住民が地域や家庭で生きがいを持って、健やかで安心して暮らせるふれあいのあるまち、住民が互いに支え合いながら暮らす地域共生のまち、安心して子どもを産み育て、生涯を健康でいきいきと暮らせる保健・医療・福祉が連携したまちをめざします。

方向性2 【防災・防犯】

安全に暮らせるまちへ

災害から住民の生命と財産を守るため、消防・防災体制の充実や防災・減災対策に取り組み、災害に強いまちをめざします。交通安全や防犯対策、消費者対策の充実により、誰もが安心して暮らせるまちを創ります。



2
身近な自然環境と
快適な住環境が
調和したふるさと



方向性1 【都市基盤・住環境】

うるおいのあるまちへ

住民生活や産業活動を支える都市基盤・インフラを適切に維持・整備します。秩序ある土地利用を図り、自然と調和のとれた魅力あふれる住環境の創出をめざします。身近な自然環境を守り、うるおいある暮らしを実現できるまちをめざします。



方向性2 【産業・就業】

活力のあるまちへ

産業の一層の活性化を通じて、播磨町に暮らし、働き、行き交うすべての人が豊かさを実感できるまちをめざします。工業をはじめ農業や商業の活性化を図るとともに、地域資源を活かした魅力ある新たな産業の創出・育成をめざします。



方向性1 【教育・文化】

人を育むまちへ

家庭・学校・地域がより一層連携し、次代を担う子どもたちの豊かな心と「ふるさとほりま」への郷土愛を育みます。生涯学習を推進するとともに、すべての住民の権利が尊重され、互いの個性を認め合えるまちをめざします。



方向性2 【協働・行政】

人がつながるまちへ

住民や地域団体、事業者など多様な主体が自発的にまちづくりや地域活動に参加できる協働のまちづくりを進めるとともに地域コミュニティの育成・活性化を図ります。効率的で健全な行政運営を進め、持続可能なまちをめざします。



3

多様な個性と夢を
みんなであつなぐ
ふるさと

